

村上市認知症対策について

R4年2月末日 村上市認知症対策推進会議資料

【資料 6】

新オレンジプラン7つの柱	R3年度の実施状況	課題	R4年度の取組み予定
①認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の開催：4回（188人受講） ステップアップ講座の開催：なし 村上市オレンジプロジェクトの実施：9月 各庁舎チラシ等展示、市のHPやFBでのPR、告知端末（神林、朝日、山北地区）、村上駅前歓迎塔ライトアップ 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における、開催希望機関の減少 企業や学校等へのPR不足 ステップアップ講座の受講が少ない メイト（講師役）のフォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の継続と職域や学校等への働きかけ。 認知症サポーター養成講座昨年度までの受講企業等へ、ステップアップ講座への働きかけ。 認知症サポーター養成講座のZoom開催
②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供	<p>【発症予防の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症予防事業の実施 元気クラブ⇒昨年度までの委託業者へ自主事業化 地域の茶の間等町内で開催していた転倒予防教室 ⇒元気アップ教室へ（全地区：計103町内開催希望） 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の評価方法 新規参加者の掘り起こし 	<ul style="list-style-type: none"> 元気アップ教室の開催地区の拡大、PR スポーツクラブの自主運営への協力 身近に通える場づくりの推進
	<p>【早期診断・早期対応のための体制整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チームの活動（H29.12～） R3年度 0件 	<ul style="list-style-type: none"> 初期集中支援チームでの対応が適切と考えらるケースの選定 居宅介護支援事業所への事業のPR 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、初期集中支援チームの活動を行う 認知症初期集中支援チーム検討委員会開催
	<p>【医療・介護の連携推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員の設置（H29.1～） 認知症サポートガイドの改訂（10月） 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポートガイドの活用、PR不足 認知症地域支援推進員の活動を広げるまでに至っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座での認知症サポートガイドの活用 認知症サポートガイドの配布機関の検討 認知症施策担当者会議を各地区関係者を交えて開催し、認知症地域支援推進員の活動拡大につなげる。
③若年性認知症施策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症支援コーディネーター（黒川病院認知症疾患医療センター）からの情報提供 ⇒福祉課、カフェでの周知や相談対応 若年性認知症支援コーディネーターの認知症対策推進会議の出席 	<ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症に関する施策が無いこと。 少数ではあるが、実態がわかっていない。実態把握が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年性認知症支援コーディネーター（黒川病院認知症疾患医療センター）との情報交換、カフェや認知症対策推進会議での周知。 仕事をしている年代であることが多いため相談があった場合、若年性認知症コーディネーターや福祉課との連携。
④認知症の人の介護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの開催 村上地区「かたるんカフェ」市直営のみ実施 村上市介護者のつどいの開催：1回実施 （有田病院認知症疾患医療センター 有田正知医師） コロナ感染状況により1回目の予定が流れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの内容検討 コロナ感染症発生前まで開催していたカフェが再開できていない。 介護者の要望に応えながら定期的に声を聴く機会をどのように設けるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの継続開催 カフェ開催事業所の再開状況把握と開催の声かけ、新規開催場所の検討 介護者のつどいの開催：2回
⑤認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進	<p>【地域の見守り体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者安否確認訪問、老人クラブ友愛訪問、民生委員、町内単位での見守り等から気になる人への訪問実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 各見守り団体との連携。 町内やご近所同士の見守り意識が高まるような働きかけが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座「地域包括ケアシステム」および「認知症を知ろう」でのPR 各地区協議体との連携、市報への掲載 村上市オレンジプロジェクトのPR
	<p>【行方不明時の早期発見・保護】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見守り安心ステッカー登録者数：61人（内15人削除） 徘徊高齢者等のGPS登録者数：3人 徘徊シルバー-SOSネットワークシステム ：防災無線3件（延べ8回）、メール3件（延べ8回） 	<ul style="list-style-type: none"> 家族等の協力が得られない徘徊高齢者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の継続と評価
⑥認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進。			
⑦認知症の人やその家族の視点の重視			